

3年間の充実した高校生活のために ～入学式 学校長式辞から～

4月10日（月）、満開の桜の中、平成29年度入学式を行いました。40名（男子21、女子19）が氷上西高校第44回生として入学しました。



【平成29年度入学式 学校長式辞から抜粋】

本校は、平成24年度に、連携型中高一貫教育校として新たなスタートを切りました。「地域の輝く星となれ」のスローガンのもと、地域と一体となって、ふるさと丹波の将来に貢献できる人材を育成する特色ある教育活動を行っています。

本年度、青垣町では4つの小学校が統合され青垣小学校が新たに開校しました。これによって、こども園、小学校、中学校、高等学校の4つの校種が近くに揃う文教地域として、学校間の連携がますます重要になります。

高校生には、中学生、小学生、園児の模範となることが期待されています。皆さんが、先生や地域の方々と一体となり、学び、鍛えあって、個性を伸ばし、それぞれの夢に向かって力強く突き進んでくれることを願っています。

これから3年間の充実した高校生活をスタートするために、新入生の皆さんに次の3つのことを実行してほしいと思います。

1つは、「**自主的に行動することで自分の持つ可能性を伸ばしてほしい**」ということです。皆さんは若く、無限の可能性を秘めています。しかし、可能性は、自らの努力なくしては現実とはなりません。いろいろなことに挑戦し、積極的に自分の良いところを伸ばしていきましょう。学校行事やボランティア活動等に自主的に取り組むことで、自分の可能性を伸ばし、将来の夢や希望の実現につなげてください。それが、保護者やご家族の期待に応えるとともに、故郷や社会に貢献することにつながります。

2つ目は、「**温かい心と強い心を持ってほしい**」ということです。相手の意見や立場を理解し、お互いに尊重し、譲り合い助け合いながら共に成長していきましょう。高校時代は、人生や進路、友情等について深く考え、時には迷い、悩む時期でもあります。そんなときにも、くじけない強い心を持ち、互いに助け合い、励まし合えるような、思いやりのある、温かく力強い人間として成長してほしいと思います。

3つ目は、「**規律ある行動をする**」ということです。集団生活を営む人間社会において、私たち一人一人の自由や幸せを維持するため、規律を守ることは人類が作り出した知恵です。自分の気まますを抑え、自分で自分を律すること、自分で考え、自分で正しく判断し、責任ある行動が取れること。その結果として、ほんとうの自由が手に入るのです。清潔感のある身なりができる、その場にふさわしい誠実な行動が取れるということは社会に出ても求められます。本校における規律ある高校生活をとおして、社会人として必要となる役割と責任を体得してほしいと思います。

（校長 高橋信之）